

# 春だいこん キュウリ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
キュウリ		-----	██████████	██████████	██████████							
春大根	████				-----	██████████	██████████	██████████		-----	-----	████

## 春だいこん



### 播種

- ・ 20日前に元肥を施し、深く耕起して畦をつくる。(窒素成分で1.5kg/a)  
特に耕土の浅い土、水田は高畦とする
- ・ 十分に水分がある状態で透明マルチを張る(発芽揃い、初期生育を良くするため)
- ・ 条間30cm 株間25cmの千鳥に一穴3粒蒔き、1cm位覆土する。(空き缶等で穴を開ける)

### 間引き

- ・ 本葉2~3枚の頃2本にする
- ・ 本葉5~6枚の頃1本立てとする(間引きが遅れると根形異常が起きる)

### 温度管理

- ・ 播種~本葉1枚までは30 (厳寒期は密閉)
- ・ 本葉2枚以降10枚までは日中25~30 (但し高温による葉焼けには注意)
- ・ 本葉10枚以降は20 で管理する(換気が不十分だと葉勝ちになり根部の太りが悪くなる)

### 収穫

- ・ 若どりに努める(収穫遅れになると変形やス入り、肌つやも悪くなる)

## キュウリ



### 圃場条件

- ・排水良好で肥沃な土壤がよい
- ・灌水の便利なところを選ぶ
- ・土壌酸度は pH5.5 ~ 6.7 が適している

### 畦作りとマルチ

- ・畦幅 150 cm
- ・マルチ張り 雑草対策と地温確保のため行う。

### 定植

- ・株間 70 cm
- ・乾燥が続くときは株元灌水を行い、活着を促進する

### 整枝

- ・主枝（親づる）1本仕立てとし支柱（又はネット）の高さまで伸びたら摘心する
- ・子づるは5節まで（或いは30cmの高さまで）全て除去、6節～10節は本葉2葉で摘心
- ・子づる11節以上は伸びすぎたつるだけを摘心する

### 摘葉

- ・光線を株の内部に透過させることや、通風をよくして病害虫の発生を予防する
- ・きゅうりの葉の光合成能力は展開後30～35日が最大で、その後は急激に低下するので、40～50日を目安に摘葉する（1回の摘葉は1株3枚位）

### 摘果

- ・不良果は早めに摘果し、草勢の維持に努める
- ・成り疲れや低温、肥料切れ、乾燥等により不良果が発生するときは強めに摘果して側枝の発生を促し、草勢の維持に努める

### 追肥

- ・定植後、15日おきに追肥を行う（液肥、1回当たり10kg/10a程度）

### 収穫

- ・若どりを心がけ株の負担を軽くする